

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

種～野菜～／学校法人風間学園 ひかり幼稚園

植物を大事に育てている子どもたちは、様々な気づきをしたり疑問をもったりして、対象への興味を深めていきます。気づきを受け止める保育者の援助や、疑問を追求することができる環境の工夫は、「科学する心」を育むことに繋がります。野菜との関わりから生まれた子どもたちの思いに寄り添い、体験を深めていけるような工夫をしている園の実践をご紹介します。野菜を育て収穫した野菜の「種」に興味をもった子どもたち、その興味は他の野菜にも広がります。



● 野菜には種がある！？／5歳児

5歳児が、野菜の苗を育てることになった。自分たちで八百屋さんに行き、自分の気に入った苗を購入した。自分で決めた野菜ということもあり、子どもたちは、毎日のお世話や観察など一生懸命行い、野菜への関心度は例年以上に高まった。そして、苗が元気がなくなった時は原因を探ったり、土の中に幼虫を発見したりなどしながら、子どもたちは大切に野菜を育てた。順調に苗は大きくなり、6月中旬ごろから野菜が実りだした。1番に実ったミニトマトが赤くなると、育てた子どもたちは喜びを見せる。その様な中…

✦ 野菜にまた虫が！？

子ども：「先生！落ちちゃったトマトに虫が付いているよ！」
保育者：「白い虫だねえ！なんだろう？食べているのかな？」
子ども：「(中に) 入っていくみたいだよ！あ！トマトが巣なんじゃない？」
保育者：「ちょっと様子を見てみようか？」

- 虫かごに入れて様子を見ることになる。

子ども：「虫が入ったから中身が出てきちゃったよ！」
子ども：「虫さんが食べてる？巣にしているってことは、トマトがおいしいってことだね！」

- あれから虫が出てこない…。一日経っても出てこなかったら中を見てみようということになる。

✦ その日の夕方

- トマトの中をそーっと見てみることに…。

子ども：「何がいるかな？」
子ども：「あれ？どこ行った？」
子ども：「いないー！？」
子ども：「このツブツブ何？」

- 残念ながらトマトの中に入っていた虫は、発見できなかった。「誰も見ていないうちに逃げて行ってしまったの？」「トマトがおいしかったから溶けちゃった



の？」…という子どもたちの疑問は残るままだったが、新たに“種がたくさんある！”という発見をした。普段何気なく食べている物も、じっと見つめると、いつもと違う発見が生まれることを感じた。

✿ 次の日

- 子どもたちは、ナスが実ったから“ナスカレーを作ろう！”という計画を立て、ナスを収穫しに行く。

Aちゃん：「あ、また穴が」
Bちゃん：「トマトみたいに虫が食べて入っちゃったんじゃない？」
Aちゃん：「また中を見てみようよ！」と、中を見るが虫はいない。
Bちゃん：「ナスにも虫は入っていなかったなあ。食べて逃げちゃったのかな？」
Aちゃん：「あ！でも種みたいなツブツブが入っていたよ！トマトと同じだ！！」



✿ 野菜には種がある！？

- ミニトマトとナスの中に虫が入った！？と、よく観察をしてみると種があることを発見した子どもたち。そして、ミニトマトとナスには種があったけれど、他の野菜には種があるのかという疑問が広がった。
- 子どもたちは、トマトを切って中を見て「ツブツブがいっぱいある」こと、ナスを縦に切って中を見て「ちっちゃな種がある！」ことに気付く。
- そこで、育てているキュウリにも種があるのか調べてみることになり、キュウリを収穫する。「さっそく切ってみよう！」「ワー！！種がいっぱい入っている！」「太い所には種がぎっしり！」「どれぐらいあるか取ってみよう！」などといったながら、子どもたちは、種を取り出してみることにした。

子ども：「種がいっぱい取れたよ！！メロンの種に似ているね！」
子ども：「ヌルヌルするから少し乾かしておこう！」

✿ 緑のキュウリと黄色のキュウリと種は同じ！？

- 保育室に収穫したキュウリを飾っていたところ、しばらくすると、キュウリが黄色になっていた。「バナナみたいーい！！」「でも、キュウリの匂いだよ！！」「緑のキュウリと違ってプニプニ柔らかい！」と、感じたことを伝え合う子どもたち。
- そこで、黄色のキュウリの中も見てみることになる。
「中はどーなってる？」「あ！！種が入っているよ！緑のキュウリと同じ！」「ゼリーみたいなグニグニに種が入っているよ！」「種は少ないけど、緑のキュウリの種より膨らんでいるー！！」「13個もとれたよー！」「この種を植えたら、もう一回キュウリが生るのかなあ！？」など、気付いたことを伝え合っていた。
- 『だいだころのたね』※の絵本を見た子どもたち…。

Cちゃん：「種の本があったよ！ここに載っているかも？見て見ようか？」
Dちゃん：「種を植えたら芽が出るって書いてある！」
Cちゃん：「スイカの種も芽が出るんだって！やってみたーい！」

※[だいだころのたね \(サンチャイルド・ビッグサイエンス\) チャイルド本社 著：久保秀一・ふじいかずえ](#)



✿ 種を植えてみよう！

- 種の絵本を見て、種への興味はさらに深まり、実際に自分たちも、植えることになった。緑のキュウリの種は平べったくて、黄色のキュウリの種はふっくらしている。子どもたちと相談をして、緑のキュウリと黄色のキュウリが生るかもしれないと、別々に種を蒔くことにした。また、種の本に載っていたゴマやスイカの種も蒔くことにした。
- それぞれのお皿に脱脂綿や土や水を入れ、種を蒔く。

子ども：「水に入れても芽が出るって書いてあった！」
 Eちゃん：「スイカの種はヌルヌルしている！」
 Fちゃん：「スイカの種、大きくなるかな？脱脂綿の上に載せて…」
 Gちゃん：「水にも撒いてみよう！」
 Hちゃん：「土の布団をよくかけて…早く芽がでるといいな！」



✦ 4日後の月曜日…

子ども：「芽が出たー！！」
 子ども：「黄色のキュウリの種だけ芽が生えてきてる！！」

- 「このまま芽が大きくなることを観察しよう！！」「他の種もいつ芽が出てくるか楽しみだな？」
- 休み明けに、黄色のキュウリの種から芽が出たことでこれからどうなっていくのか生長を待つ姿が見られ、次への楽しみを見つけた子どもたちであった。



✦ 考察

野菜に種があることを知った子どもたち。スタートは苗からの栽培だったこともあり、収穫した種から野菜ができることを絵本を通して発見した。自分たちが育てた野菜の種から、また野菜は生るのか？絵本に書いてあったように、種から芽は出てくるのか？という興味から、実際に友達や保育者と考えたり、試したりすることで更なる期待が膨らんだ。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」